

宍粟市体育協会及び加盟団体主催大会等の新型コロナウイルス感染症対応指針

1 はじめに

緊急事態宣言が解除されてから1ヶ月が経過した今も新規感染者が発生しており、7月18日には西播磨管内でも感染が確認されました。これにより、本会のスポーツ活動においても感染対策を講じる必要があり、そのために必要な事項を以下のとおりとしましたので大会及びイベント等（以下、大会等とします。）の運営にあたっては遵守いただきますようお願いいたします。

2 基本方針

(1) 目的

- ・大会等の運営にあたり、感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき事項を示す。

(2) 対象

- ・宍粟市体育協会主催の大会等
- ・宍粟市体育協会加盟団体（13団体）主催の大会等

(3) 感染を注意すべき関係者

- ・競技者及びその家族、同居人
- ・監督、コーチ、マネージャー及びその家族、同居人
- ・その他入場者及びその家族、同居人

3 大会等の開催にあたって運営側が対応すべき事項

裏面のとおりにする

4 「ひようごスタイル」の推進とは（抜粋）

I 感染拡大を予防する「日常生活」（ライフスタイル）

1 ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1) 「3密」（密閉・密集・密接）の回避
- (2) 身体的距離（ソーシャルディスタンス）の確保（できるだけ2m、最低1m）
- (3) マスクの着用（※）、咳エチケットの徹底
- (4) 手洗い・手指消毒（手洗いは30秒程度、石けん・消毒薬の利用）
- (5) 体温測定・健康チェック（熱や風邪の症状があるときは自宅で療養）
- (6) 発症時やクラスター発生時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録
※熱中症リスクを考慮し、人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合は、マスクを外す。

大会等の開催にあたって運営側が対応すべき事項

1 参加者の管理

- ・全員にマスクの持参及び着用を求めること（競技中は熱中症対策のため外す）
- ・来場時の全員の体温を把握し、体調がすぐれない人は参加を控えるよう促すこと
- ※参加者各自で来場前に検温を行うことが望ましい
- ・全員の氏名、年齢、住所または電話番号を把握しておくこと

2 運営スタッフの管理

- ・全員の氏名、年齢、住所または電話番号を把握しておくこと
- ・全員がマスクを着用し、こまめな手洗い及び手指の消毒を行うこと

3 観客の管理

- ・観客の入場を許可する場合は、観客同士が密な状態とならないよう呼びかけ、必要に応じて、人数を制限するなどの措置を講じること
- ・大声での応援や会話を控えるよう呼びかけること

4 手洗い等の呼びかけ

- ・入場者全員にこまめな手洗い及び手指の消毒を呼びかけること
- ・共用の布タオル等の使用を禁止し、参加者にマイタオル等の持参を求めること

5 体育館、更衣室、洗面所等の屋内施設

- ・入場者同士が密になることを避けること
- ・複数の人が触れる場所（ドアノブ、テーブル、いす等）はこまめに消毒すること
- ・窓を開けて外気を取り込むなどして、こまめな換気を行うこと

6 密集の回避

- ・密集を避けるため、開会式等の式典は行わないことが望ましいが、やむを得ず執り行う場合は、人数を制限するなど、なるべく簡素なものとし、密を避けること
- ・選手の控室や待機場所での感染リスクが特に高いことから、十分なスペースを確保し、選手同士が密集しないよう呼びかけること

7 その他

- ・運営側は事業規模、開催時期等を考慮し、開催について慎重に協議を行うこと
- ・主催者及びその上位団体が通常開催は困難であるとしたときは、事業規模の縮小及び開催時期の延期、中止等の要請に応じること